資料4

第1回松浦川流域懇談会（仮称）

平成22年4月20日18時30分～

相知交流文化センター

松浦川流域懇談会の設立趣旨

平成9年の河川法改正に伴い、河川管理者は河川工事及び河川の維持についての基本となるべき方針を示す「河川整備基本方針」と、その基本方針に沿って今後の具体的な河川整備の目標や内容を示す「河川整備計画」を定めることとされている。

松浦川水系においては、平成18年4月24日に「松浦川水系河川整備基本方針」を、平成21年7月21日に、今後概ね30年間の具体的な計画を示した「松浦川水系河川整備計画」を策定いたしました。

今後、この河川整備計画に基づき、松浦川の川づくりを進めていくためには、より一層、地域住民、市民団体、学識経験者、関係機関等との連携が重要である。

また、整備計画の内容についても自然的・社会的状況の変化や事業の進捗等に伴い見直し等が必要な場合もあるため、松浦川の川づくりにこれまで携わって頂いた方々と継続的に連携・協働することが重要である。

このことから、松浦川を流域一体として捉えた中での意見交換や情報が共有できる場として「松浦川流域懇談会 」を設置するものである。

本日は、皆様方の活動情報や、日頃、松浦川について感じていること等、たくさんの情報交換をお願いします。

懇談会の内容

1. 松浦川水系河川整備計画の概要（約7分)
2. 昨年７月の洪水について（約2分）
3. 防災・河川情報について（約4分）
4. 昨年度行った河川整備・維持管理と
   今年度の予定について（約16分）
5. 住民団体の方々の活動紹介（約15分）
6. 意見交換（約50分）

懇談会の内容

1. 松浦川水系河川整備計画の概要（約7分)
2. 昨年７月の洪水について（約2分）
3. 防災・河川情報について（約4分）
4. 昨年度行った河川整備・維持管理と
   今年度の予定について（約16分）
5. 住民団体の方々の活動紹介（約15分）
6. 意見交換（約50分）

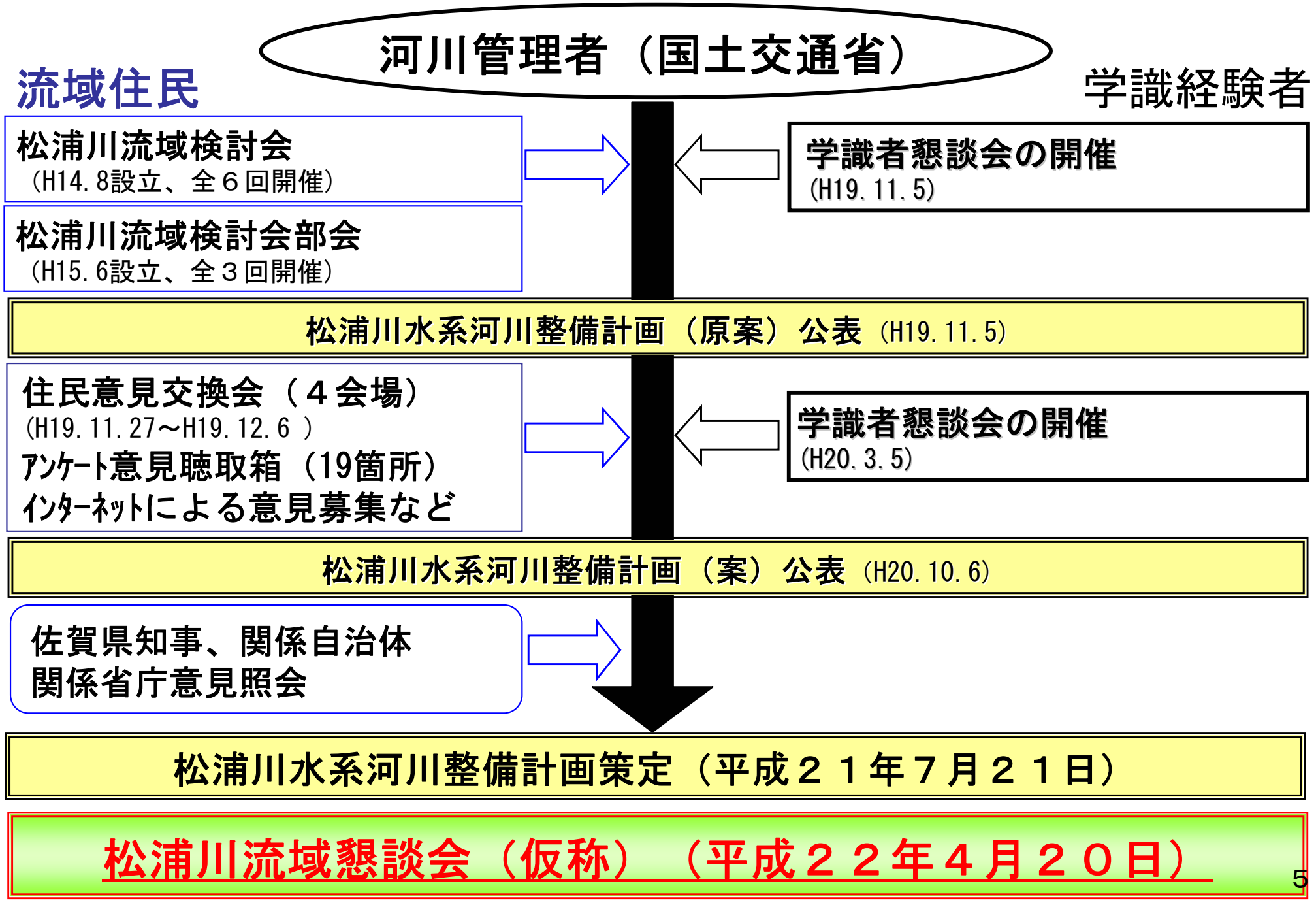
松浦川水系河川整備計画の概要

－大臣管理区間－

平成２２年４月

国土交通省九州地方整備局　武雄河川事務所

河川整備計画策定のこれまでの流れ

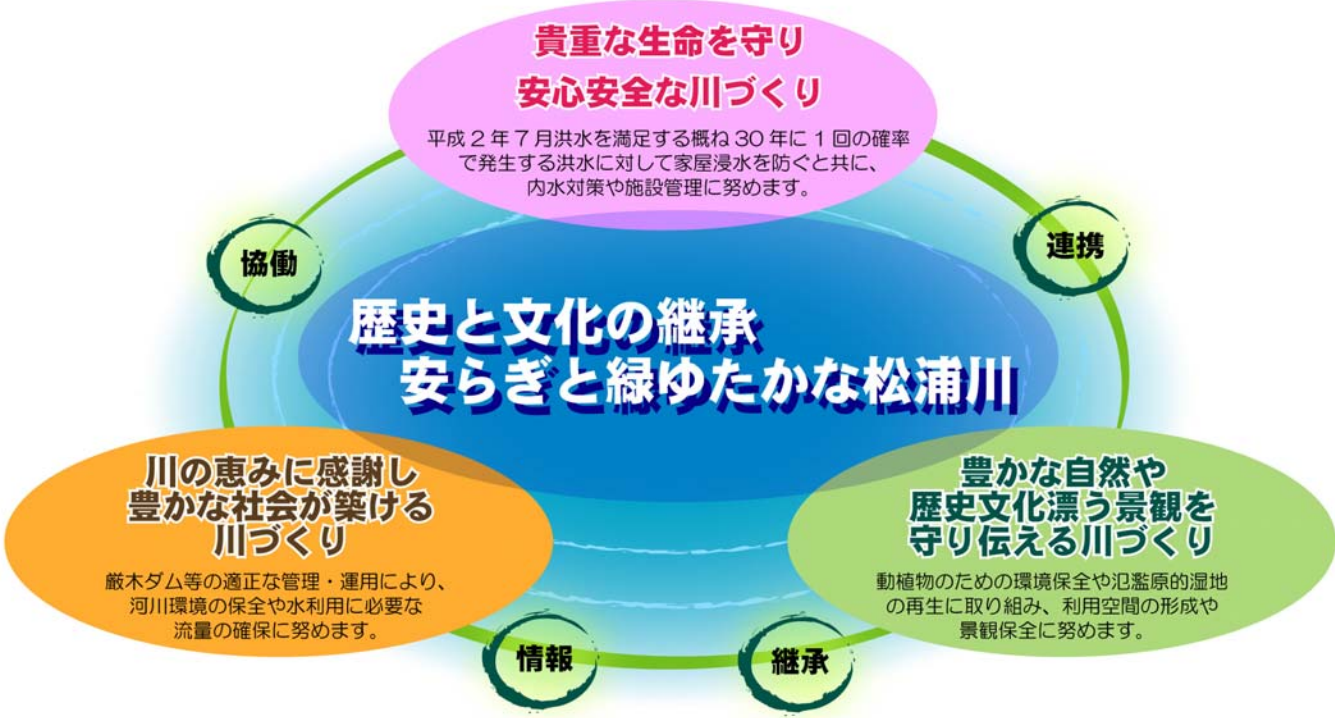


松浦川の川づくりの方向性

松浦川水系河川整備計画には、今後の松浦川における川づくりにあたっての基本理念や治水、利水、環境毎の目標や、河川整備にあたっての考え方を示すとともに、概ね30年間の具体的な整備内容を記載しています。

基本理念

歴史と文化の継承　安らぎと緑ゆたかな松浦川を基本理念として、
流域住民が安全、安心に暮らせるように、
社会基盤の整備を図るとともに、自然豊かな河川環境を保全し、
古くから大陸文化の伝来窓口として栄えた流域の風土、歴史、文化を踏まえ、
流域の個性や活力を実感できる川づくりに取り組みます。



治水　貴重な生命・財産を守り、安全安心な川づくり

整備の目標

平成2年7月洪水に相当する概ね30年に1回の確率で発生する洪水に対して、「破堤」「越水」等による家屋の浸水被害を防ぐことを目標とします。

なお、整備にあたっては、上下流、本川、支川のバランスに考慮し、水系一貫した河川整備を進めます。

■松浦川水系河川整備計画の対象区間

松浦川合流点～14.5km【高瀬橋】

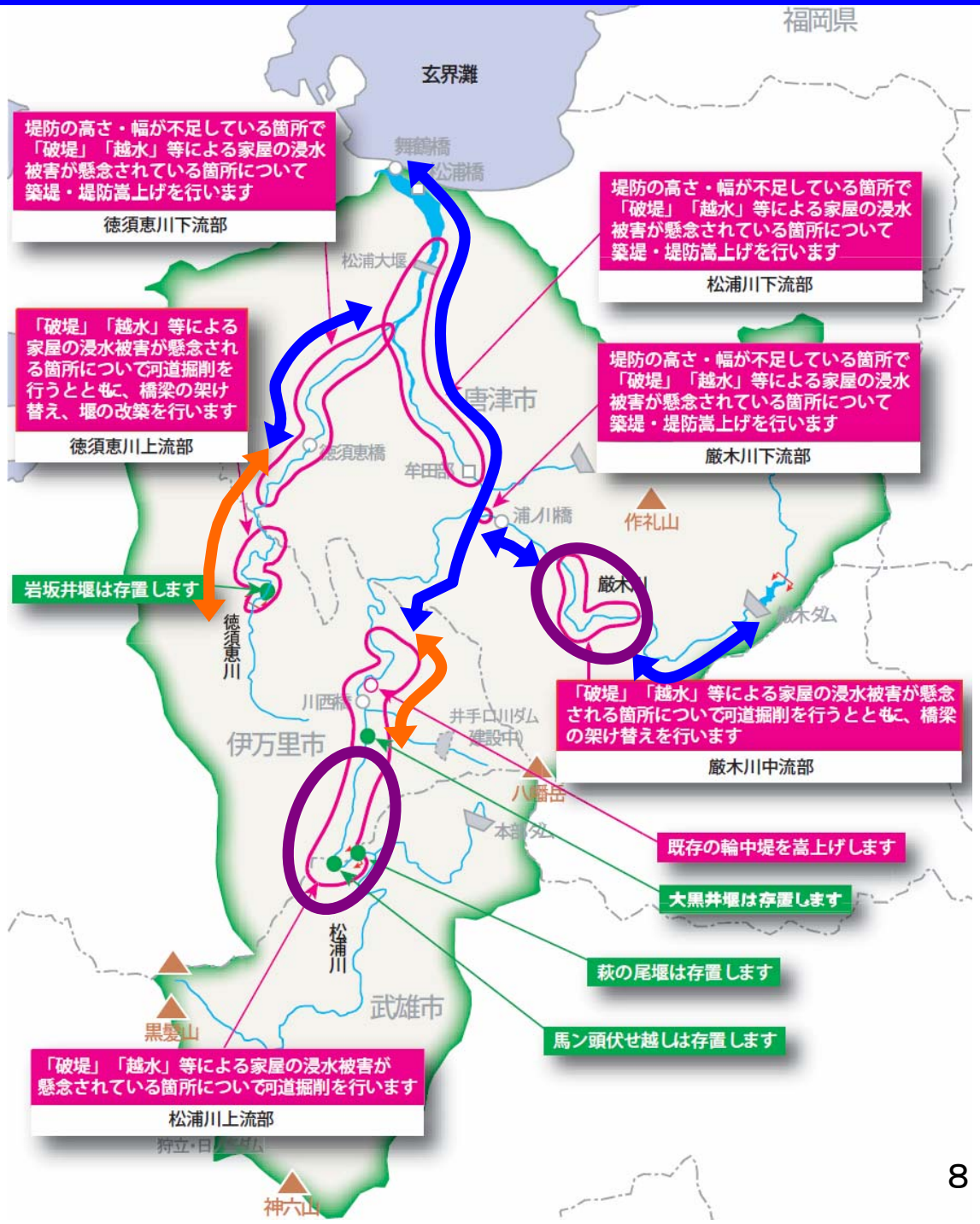
松浦川合流点～17.4km【厳木ダム上流】

河口～31.4km【萩ノ尾堰上流】

治水　現在の整備状況と整備位置

整備状況/整備位置図

松浦川の改修は着実に実施されてきましたが、松浦川の上流、徳須恵川、厳木川の中流など、整備の必要な箇所があります。
このため、**本川・支川、上下流のバランスに配慮しつつ整備を進めなければなりません。**



↔ :30年に1度の確率で発生する洪水を概ね流すことが出来る区間

↔ :10年に1度の確率で発生する洪水を概ね流すことが出来る区間

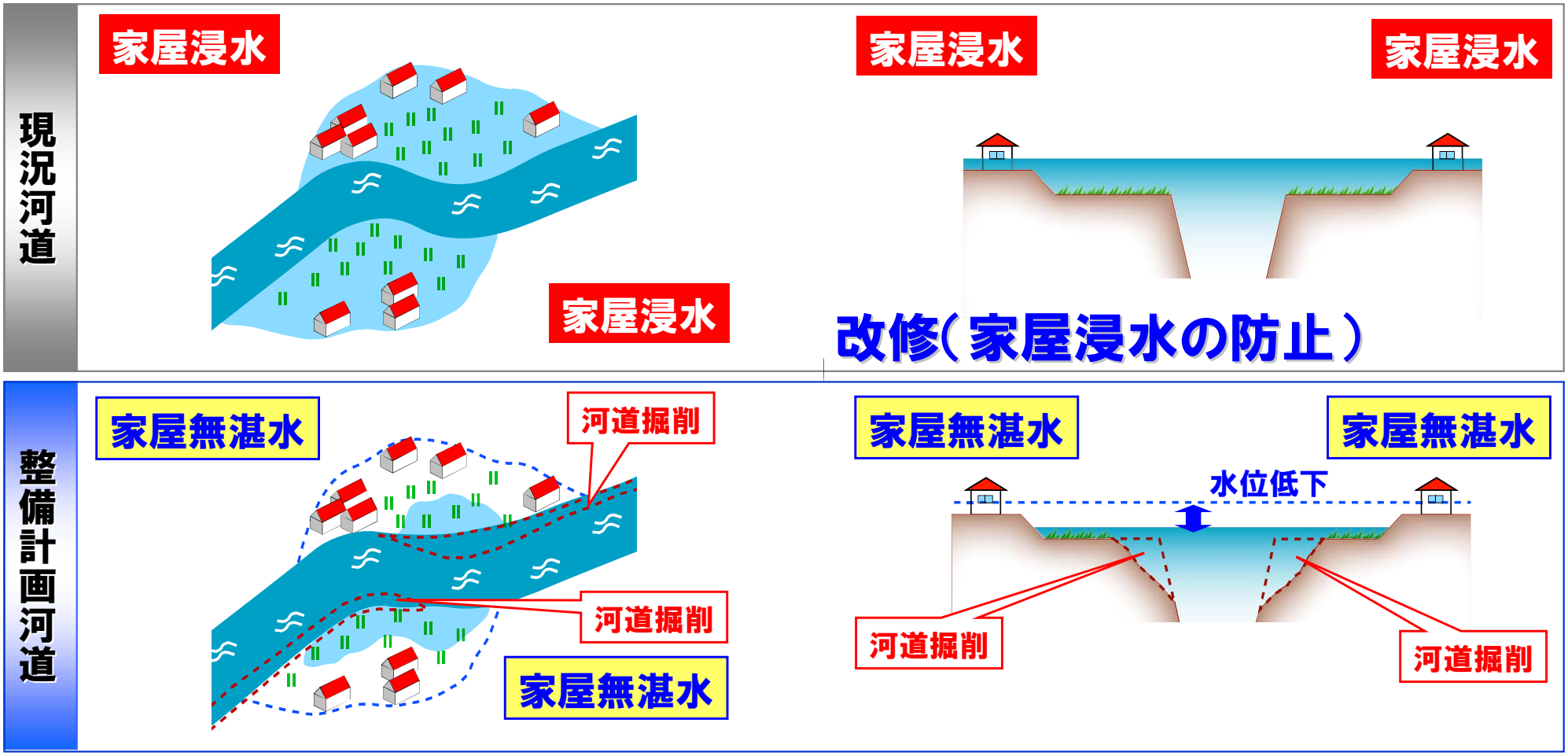
⬭ :10年に1度の確率で発生する洪水を流すことが出来ない区間

治水　整備イメージ＜川幅が足りない区間＞

概ね30年に1回発生する規模（平成2年7月洪水規模）の洪水に対して、「破堤」「越水」等による家屋浸水を防止するために

河道掘削や橋梁、堰を改築することにより、洪水を流す能力を向上させ、洪水時の水位を低下させます。

河道断面（川幅）が不足している箇所について、河道掘削、橋梁、堰などの構造物改築を行います。なお、掘削の際は、多様な動植物が生息・生育する河川環境に十分配慮します。

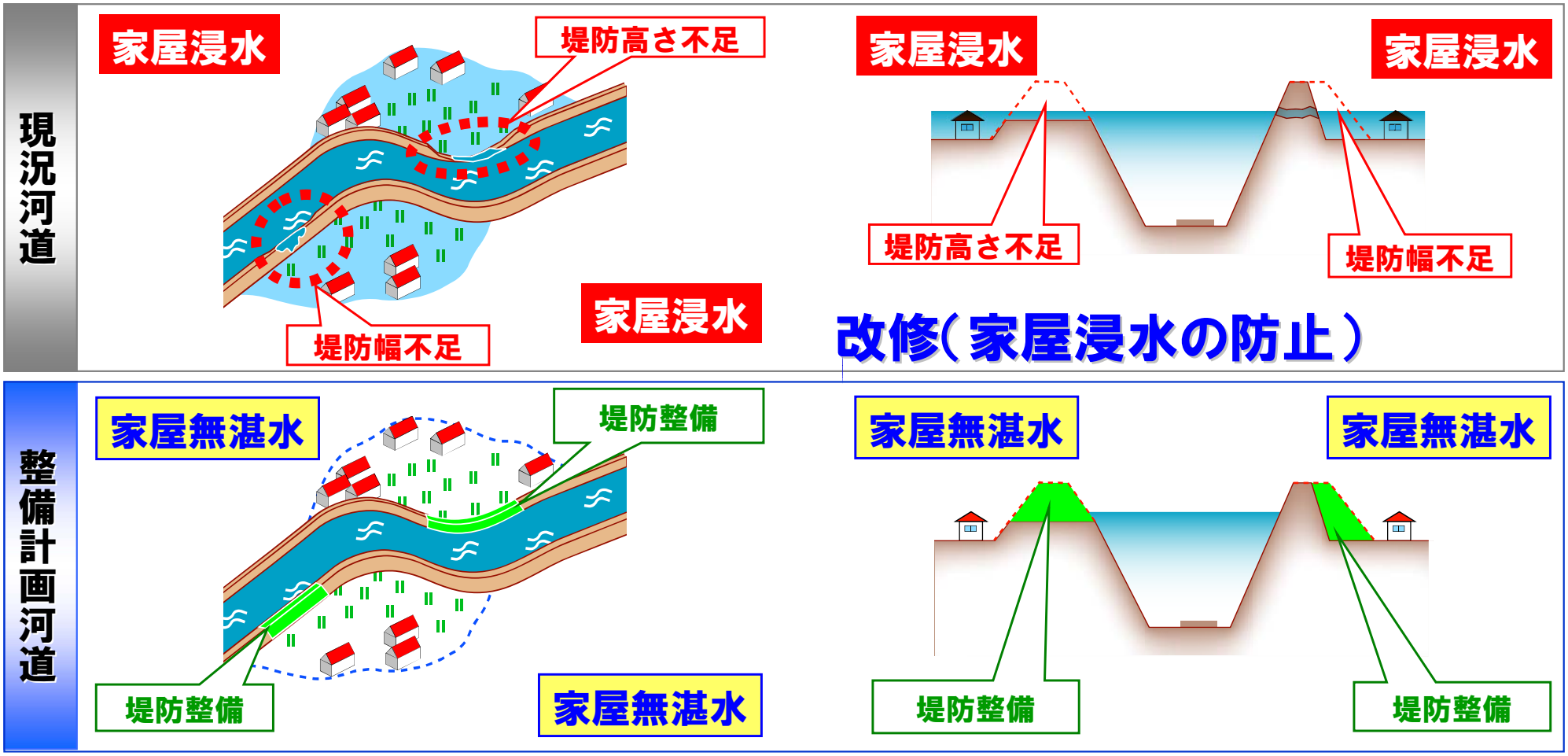


治水　整備イメージ＜堤防の高さが足りない区間＞

概ね30年に1回発生する規模（平成2年7月洪水規模）の洪水に対して、「破堤」「越水」等による家屋浸水を防止するために

堤防のかさ上げや拡幅などを行います。

堤防が所定の高さに満たない箇所において、整備目標流量に対して家屋浸水の可能性が懸念される区間については、堤防のかさ上げや拡幅、築堤などの整備を行います。



河川環境　豊かな自然や歴史文化漂う景観を守り伝える川づくり

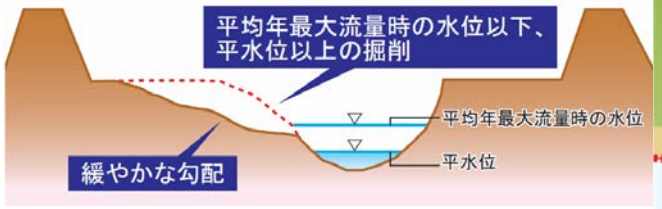
整備の目標

動植物のための環境保全や氾濫原的湿地の再生に取り組み、利用空間の形成や景観保全に努めます。

動植物の生息や生育環境を保全するために

河川の整備にあたっては十分な配慮を行います。

生物の多様な生息・生育環境に配慮し、河道掘削は、平水位以上で緩い勾配を基本とします。
さらに、一定の冠水頻度を確保することで、植生の繁茂を抑制します。
また、伐採時期の調整などにより、生態系への影響を極力小さくするよう努めます。



掘削・樹木伐採のイメージ

良好な景観の維持、形成のために

歴史と文化を継承した川づくりを行います。

流域の特性、土地利用、地域の歴史・文化等と調和した河川景観の保全に努めます。
また、流域内には建設当時の姿を残す井堰が存在し、これらの歴史と文化を継承するために歴史的価値を評価し、保全に努めます。

唐津城と調和した河川景観

町切水車

治水　河川管理施設の維持管理

浸水被害を軽減するために

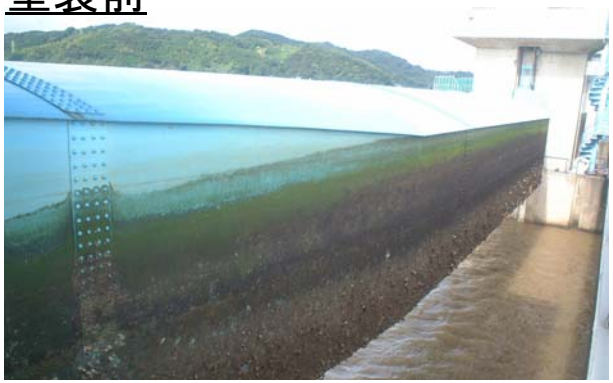
災害を未然に防止又は軽減するために、効率的かつ効果的な維持管理を行います

●洪水の流れを妨げないように、必要に応じて土砂等の除去や川に繁茂する樹木の伐採等を行います。
●堤防、護岸、樋管などの河川管理施設については、河川巡視や点検を行い、計画的な補修、施設の更新・改築などを行い、各施設を良好な状態に維持します。

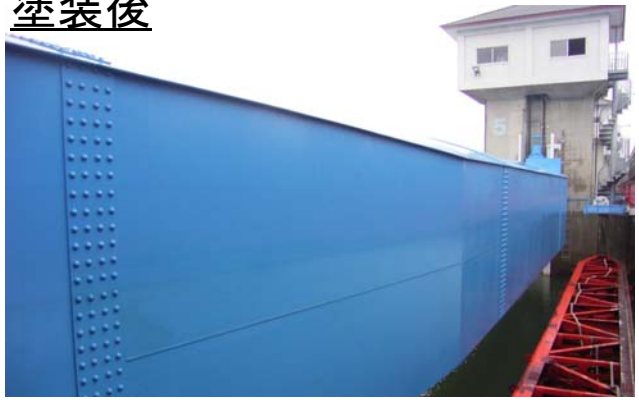
河川巡視
定期的に河川を巡視し、出水や地震、人為的な行為等による堤防等施設への不具合が生じていないか確認します。

堤防除草作業
除草を行うことは、有害な植生の除去につながり、出水等による堤防のひび割れや陥没等の変状を確認しやすくします。

塗装前



塗装後



松浦大堰のゲート塗装（防錆対策）
ゲート塗装を行い、錆による劣化を防ぎ、施設の機能を維持します。

防災　災害への備え

災害に強い地域づくりのために

危機管理を考えた災害に強いまちづくりを目指します。

●災害時に必要な情報をインターネットや携帯電話でリアルタイムに提供することで、被害を最小限にくい止めることが出来るよう、ソフト対策を推進します。
●地域住民が、いざというときのために避難する場所や危険箇所など、地域の防災情報が入った地図、マイ防災マップの作成を支援し、危機管理の観点から普段のまちづくりを地域住民と協働で考えます。

携帯電話等でも川の情報をリアルタイムに知ることができます。

河川情報をリアルタイムに提供

地域独自の防災マップ作成を支援します。

防災まちづくり「マイ防災マップの作成を支援」

地域と連携した取り組み

憩いの場として愛される松浦川を地域の皆さんと一緒に

整備の目標

より一層、地域住民、市民団体、学識者、関係機関等との連携・協働し、松浦川の川づくりを進めます。

関係機関、地域住民との連携・協働

災害に強いまちづくりのために

洪水時の被害を最小化することを目的として、防災まちづくりの支援などこれまで取り組んでいるソフト対策の更なる充実を図ります。

山本地区防災まちづくり

地域の将来を担う人材の育成・発掘

今後、川づくりを進める上で、水生生物調査、環境学習などの水辺の自然体験活動等の機会を提供し、将来の地域を担う子どもたちへの環境学習を積極的に支援します。

出前講座の実施風景

小学校児童による水生生物調査

これからの松浦川のかわづくり

協働・連携による松浦川のかわづくり

今後、松浦川の川づくりを進めていくためには、より一層、流域の皆様と連携が重要であると考えています。このため、松浦川を流域一体として、意見交換や情報が共有できる場として、「松浦川流域懇談会（仮称）」を設置し、流域の皆様と連携・協働しながら、松浦川の川づくりを進めていきたいと考えております。

具体的には？

（行政）工事予定や事業の紹介等
（地域）住民団体の活動や行事紹介、意見交換
住民・住民団体相互のコミュニケーションの場

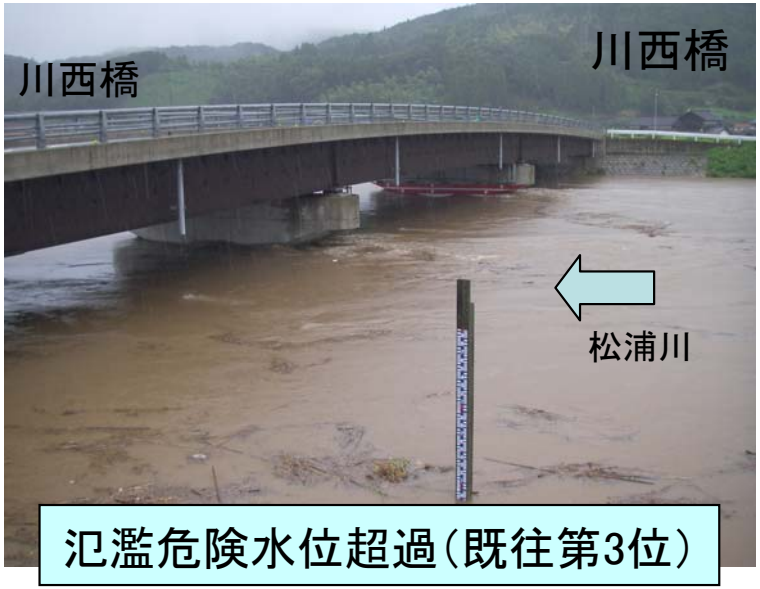
懇談会の内容

1. 松浦川水系河川整備計画の概要（約7分)
2. 昨年7月の洪水について（約2分）
3. 防災・河川情報について（約4分）
4. 昨年度行った河川整備・維持管理と
   今年度の予定について（約16分）
5. 住民団体の方々の活動紹介（約15分）
6. 意見交換（約50分）

昨年７月の洪水について

松浦川上流 河川整備の効果

■洪水の概要■ 平成21年7月26日の洪水は、松浦川上流の川西橋水位観測所で13時30分に最高水位7．28m、はん濫危険水位(7.2m)を8cm越える水位を記録。これは、家屋全壊流失42戸、家屋浸水6，235戸、氾濫面積5，176haを記録した、昭和42年7月大水害に次ぐ、既往第3位の水位でした。



氾濫危険水位超過（既往第3位）

洪水は堤防を越えず、河道内を流下

■整備効果■ 松浦川上流においては、これまでの河川整備（河道掘削、駒鳴捷水路など）により洪水時の水位を低下させ、一部で田畑の浸水被害は発生したものの、家屋浸水等の被害の発生を防止することができました。

＜松浦川上流（川原地区）における河川改修状況＞

河川整備

河道整備等により、家屋浸水を防止！

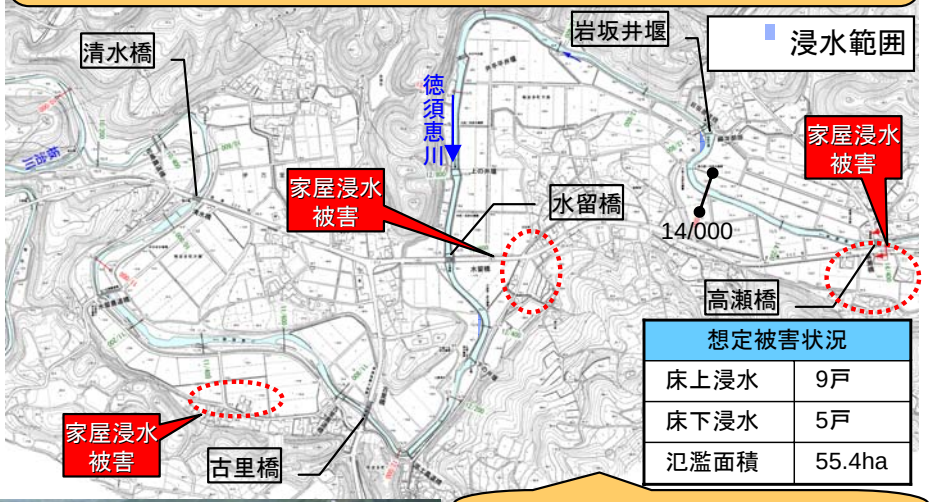
昨年7月の洪水について

徳須恵川上流 水留地区河川整備の効果

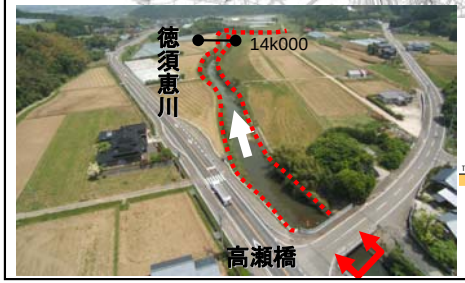
■洪水の概要■ 7月24～26日の洪水は、床下浸水7戸、床下浸水143戸、氾濫面積173haを記録した平成5年8月出水に次ぐ、既往第7位（平成18年9月出水は既往第3位）を記録。

■整備効果■ これまで度重なる被害を受けている徳須恵川上流水留地区においては、これまでの河川整備（河道掘削、橋梁架替など）により、洪水時の水位を低下させ、一部で田面の浸水被害は発生したものの、家屋浸水等の被害の発生を防止することができました。

もしも･･･、平成18年当時の川（改修前）に、今回の洪水が起きていたら･･･

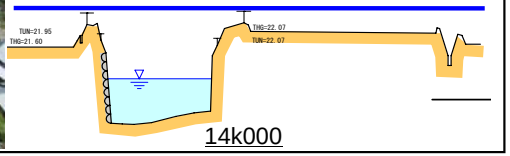


想定被害状況	
床上浸水	9戸
床下浸水	5戸
氾濫面積	55.4ha



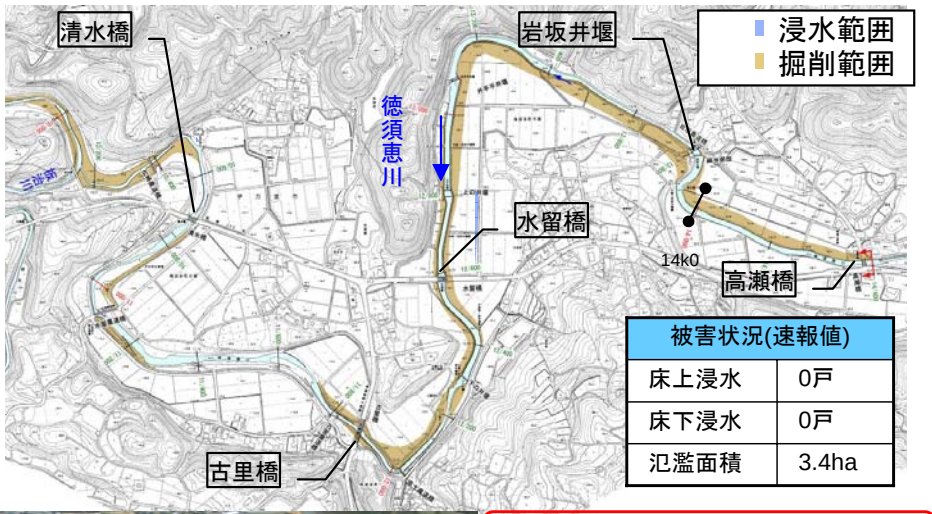
多くの家屋が浸水被害を被っていたかもしれません

今回の洪水が流れた場合の想定水位



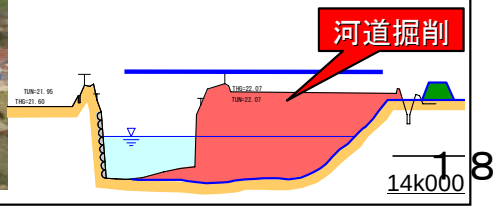
河川整備

今回出水（平成21年7月）の実績被害状況



被害状況(速報値)	
床上浸水	0戸
床下浸水	0戸
氾濫面積	3.4ha

河道整備等により、家屋浸水を防止！



懇談会の内容

1. 松浦川水系河川整備計画の概要（約7分)
2. 昨年７月の洪水について（約2分）
3. 防災・河川情報について（約4分）
4. 昨年度行った河川整備・維持管理と
   今年度の予定について（約16分）
5. 住民団体の方々の活動紹介（約15分）
6. 意見交換（約50分）

防災情報等の情報提供

防災まちづくり

いざというときに役立つ、避難場所・避難ルートの入ったあなたの地域の「マイ防災マップ」皆さんの取り組みを、武雄河川事務所がサポートします

●地域の防災力を見直すことから始めます

昔の水害について振り返り、
危険箇所・浸水しやすい場所を地図上に記す

実際に住民の皆さんの足で地域を見て回る

防災上の課題・問題点を洗い出す

安全・安心なまちを作るための対策を考える

●地域独自の防災情報をマップにまとめます

<u>いつもの安全・安心の情報</u>
・通学路、街灯、危険な交差点 など

<u>いざというときの情報</u>
・避難ルート、避難場所
・危険な箇所（浸水箇所、水路…）
・その他地域の防災情報　など

★防災まちづくりに取り組む地域は、現在、<u>県内50地区以上</u>！
※佐賀新聞や福岡FBSにも紹介され、どんどん広まっています。

九州川標（かわしるべ）プロジェクトの推進

川標プロジェクト

川の「安全・安心」情報について、見直し、**大事な情報が、必要なときに流域のみなさんにきちんと伝わり、活用できるようにします。**

こんなことを感じたことありませんか？

川の「安全・安心」情報といっても…

イザというときに、どんな行動をとったらいいのか？そんな判断の役に立つ情報が欲しい！

今の水位が○○mってどういう意味？
避難しないといけないの？
これからどうなるのかも知りたいなぁ・・・

知りたいときに知ることができなければ、意味がない！

今、自分たちの地域の川は、どんな状況なのかが、すぐに知りたいとき、使い慣れているテレビや携帯電話などをもっと活用して情報が入手できないの？
家の前の川はどうなってるの？

普段使わない用語や難しい情報が多くて、意味がわからない！

ダム放流中って、どういう意味？
だから何？
意味が理解できなければ、
どう行動したらいいかわからないよ！

え？この情報、あの情報・・・、いろいろあって何が何だかわからない！

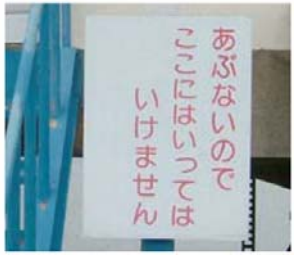
えっ？ど、どれが○○川のこと？
どれが避難の情報？
いったいどの情報を見たらいいの？

見直し

1. **言葉をわかりやすく。そしてひと目で分かる工夫を。**
   専門用語はできるだけ使わず、わかりやすい言葉と簡潔な表現にし、大切なことが適確に伝わるようにします。また、画像やグラフ等を組み合わせ、危険度や重要度がひと目でわかるようにします。
2. **情報はひとまとめに、使いやすく。**
   必要とされる情報を整理しまとめ、短時間で活用でき利用しやすいようにします。（流域単位での集約や避難情報と川の情報の一元化など）
3. **役に立つ情報を届ける。**
   川の水位予測情報の提供や、携帯電話に自動的にメールが配信されるなど、防災に役立つ情報が届くようにします。
4. **使えるものを有効に活用し、伝える手段を増やす。**
   テレビ放送やダム情報板、防災無線など、すでにある設備の有効活用を図ります。さらに地上デジタル放送による情報提供など、流域のみなさんに情報が伝わる手段を増やします。
5. **ふだんから情報の共有を。**
   日頃から流域のみなさんや市町村とコミュニケーションを図り、川に関する情報を共有できるようにします。
6. **住民の声に耳を傾け、常に改善を。**
   地域のみなさんに情報が伝わっているか、正しく理解されているかを把握し、改善を図ります。
7. **人から人への情報伝達。**
   地域のみなさんから河川管理者が情報を得るしくみや、地域のみなさん同士で情報が共有されるしくみの充実を図ります。

例えば…

「川の標識」ﾃﾞｻﾞｲﾝを工夫してわかりやすくします！



改善ｲﾒｰｼﾞ

改善ｲﾒｰｼﾞ

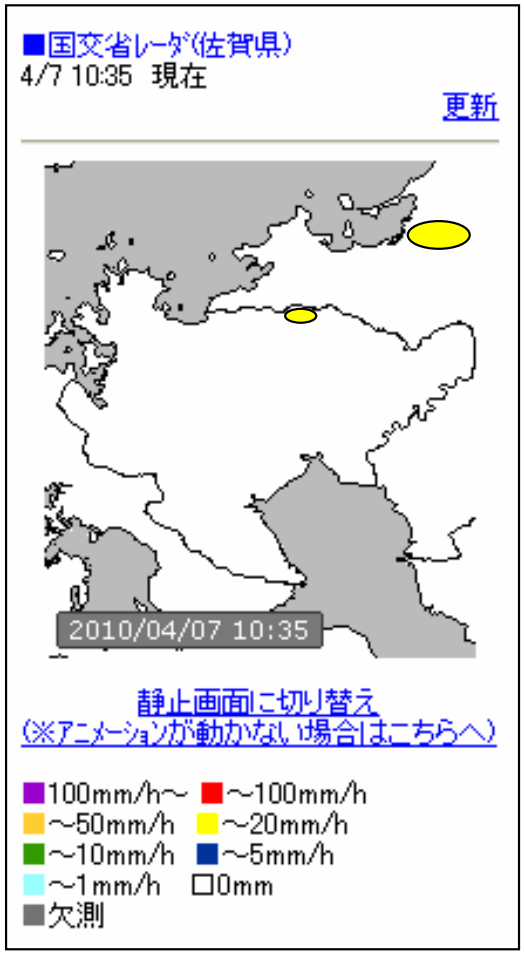
詳しくは、武雄河川事務所、九州地方整備局HP「http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kisyahappyou/h21/100222/index.pdf」をご覧下さい。

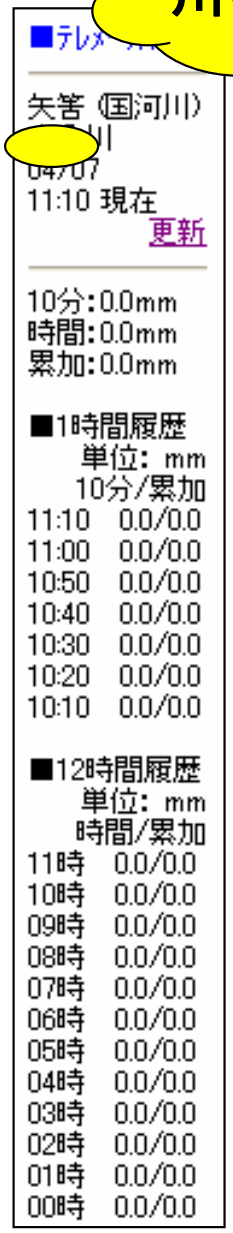
防災情報等の情報提供

防災情報充実 携帯電話での防災情報入手方法紹介

雨雲の動き
川の水位など

雨雲情報





雨量・水位情報

防災情報等の情報提供

防災情報充実　SATRISでの防災情報入手方法紹介

○武雄河川事務所HP内の防災インフォメーションを選択

赤枠内の見たい流域を選択

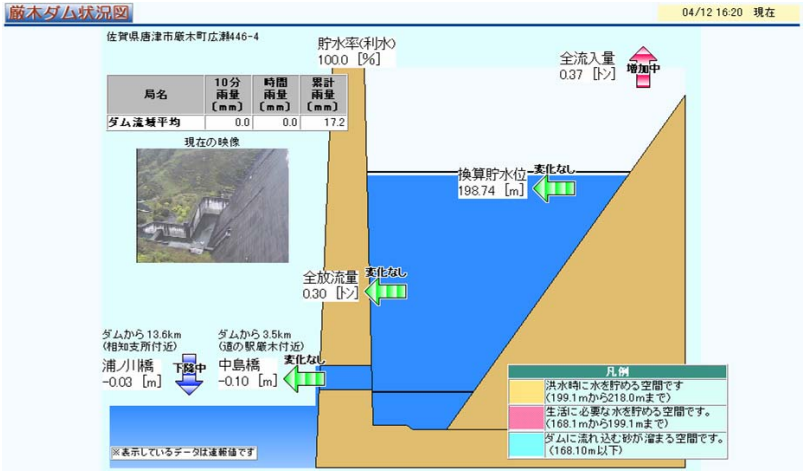
（http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/bousai/）

松浦川流域を選択

見たい項目（観測所等）を選択

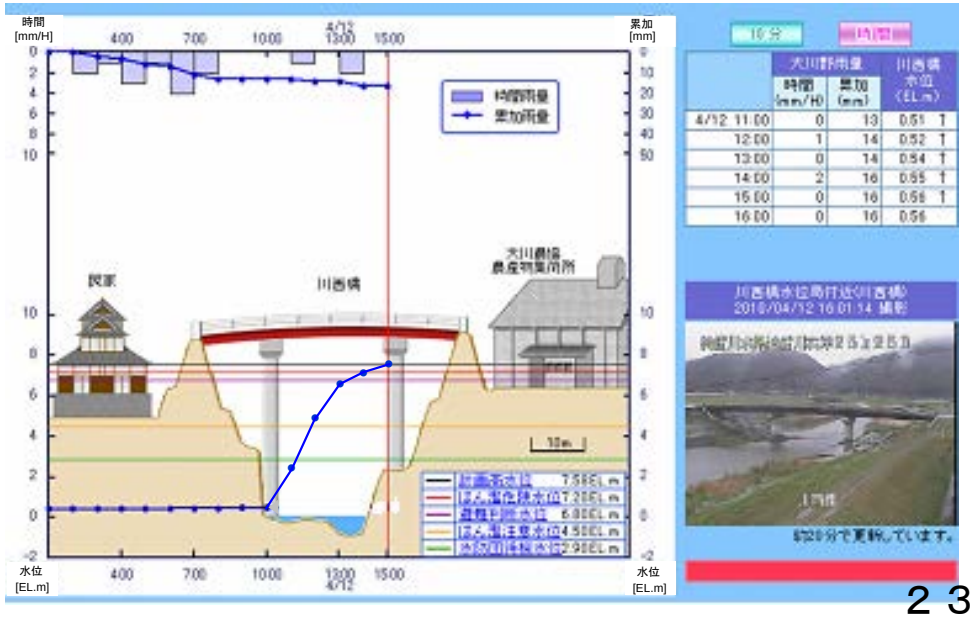
厳木ダムを選択

○厳木ダムの流入量・放流量等のデータ



川西橋を選択

○河川の水位・雨量等のデータ



防災情報等の情報提供

防災情報充実 あんあん（佐賀県）の紹介

※佐賀県HPより紹介

【概要】
皆さんの安全・安心を確保するための一助として、携帯電話等のメール機能を使った各種防災情報等を配信する佐賀県防災・安全・安心情報配信システム。

メールが届きました。
安心も届きました。

佐賀県防災・安全・安心情報配信システム

防災ネットあんあん 配信中！

携帯電話などのメール機能を使って、県から防災情報などの情報をすばやく配信します。
みなさまの安全・安心を確保するために、是非ご利用ください。

無料 メール配信料はご利用者負担　簡単登録　欲しい情報選べます

メール登録方法

携帯電話などからアドレスを直接入力されるか、又はQRコードをご利用ください。
http://esam.jp
<アドレス>
<QRコード>
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ先

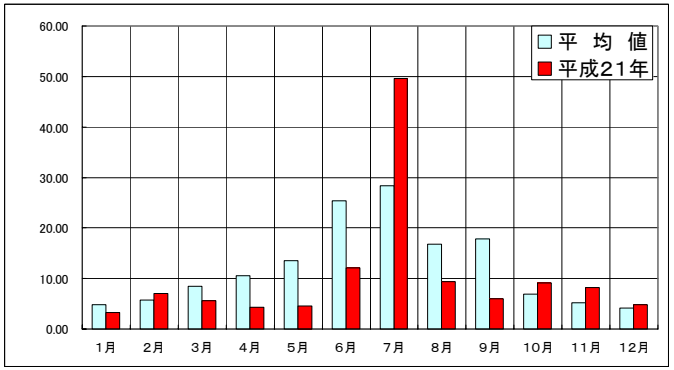
佐賀県 消防防災課 TEL 0952-25-7027
防災・減災さがポータルサイト http://bousai.pref.saga.lg.jp 検索

情報内容

メール配信内容

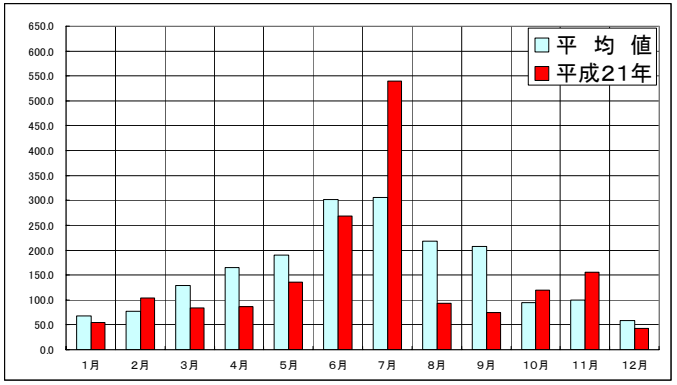
防災情報	気象警報、地震情報、津波情報、台風情報	火災情報	火災の発生、鎮火の情報
防犯情報	不審者、犯罪発生、迷い子等の手配、その他防犯に有益な情報	安否情報	災害発生時の安否確認情報
緊急情報	大規模な事故、テロ発生など	生活情報	光化学オキシダント情報、熱中症情報など

河川情報　雨量・流量・水質観測結果



雨量

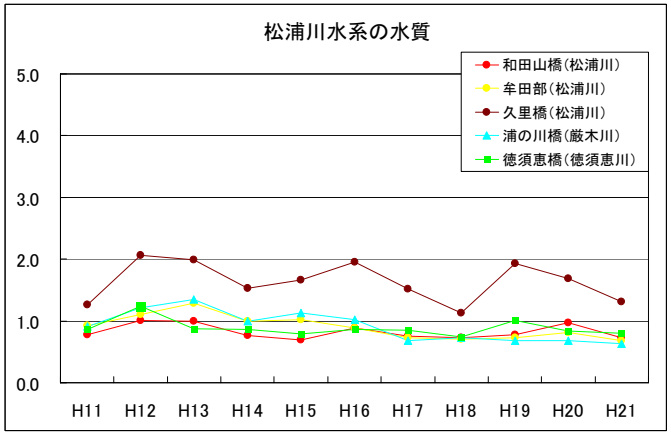
鳥海雨量観測所の年間総雨量は、1758mmで過去平均(1914mm)と比べ約90%程度で、少ない状況であった。



流量

牟田部観測所の年間平均流量は、11.6m3/sで過去平均(10.3m3/s)と比べ約90%程度で、雨量と同様で少ない状況であった。

平成21年は、過去平均（10年間）と比べ年間平均雨量は少ない状況であり、渇水に伴い厳木ダムからの緊急放流を行った。一方で、7月の雨量は例年の1．7倍の降雨量を記録した。



水　質

平成21年の水質は、過去と比較すると、全地点において、過去の水質変動の範囲で良好な水質であった。
また、厳木川においては、九州管内の河川で2番目にきれいな川であった。

国土交通省のHPにて、河川の流量、水質等を掲載しています。
http://www.qsr.mlit.go.jp/

懇談会の内容

1. 松浦川水系河川整備計画の概要（約7分)
2. 昨年７月の洪水について（約2分）
3. 防災・河川情報について（約4分）
4. 昨年度行った河川整備・維持管理と
   今年度の予定について（約16分）
5. 住民団体の方々の活動紹介（約15分）
6. 意見交換（約50分）

昨年度の河川整備の報告

整備概要

洪水を防止するため、堤防及び護岸の施工を行った。

整備内容

工事名：松浦川駒鳴地区築堤
護岸その他工事

施工場所：伊万里市大川町
駒鳴地先

工期：H21.9.8～H22.3.31

工事金額：1億2,700万円

工事内容：築堤、護岸、ｱﾝｶｰ工

整備位置

昨年度の河川整備の報告

整備概要

川の中の土砂を取り、川の流れをよくした。

整備内容

工事名：松浦川構地区外
河道整備工事

施工場所：伊万里市大川町
構地先外

工期：H21.9.1～H22.3.30

工事金額：1億4,600万円

工事内容：河道掘削
(延長=1,600m)

整備位置

昨年度の河川整備の報告

整備概要

洪水を防止するため、堤防の高さを高くした。

整備内容

工事名：厳木川相知地区
築堤護岸工事

施工場所：唐津市相知町
相知地先

工期：H21.10.2～H22.3.31

工事金額：5,500万円

工事内容：築堤、護岸、根固

整備位置

昨年度の河川整備の報告

整備概要

川の中の土砂を取り、川の流れをよくした。

整備内容

- 工事名：松浦川大川野地区河道整備工事
- 施工場所：伊万里市大川町大川野地先
- 工期：H21.9.8～H22.3.29
- 工事金額：1億3,300万円
- 工事内容：河道掘削

整備位置

昨年度の河川整備の報告

整備概要

川の利活用を目的として、遊歩道の整備を行った。

整備内容

工事名：厳木川下流地区
環境整備工事

施工場所：唐津市相知町
中山地先

工期：H21.12.3～H22.3.29

工事金額：3,700万円

工事内容：階段、遊歩道、手すり

整備位置

昨年度の河川整備の報告

整備概要

川の利活用を目的として、環境整備を行った。

整備内容

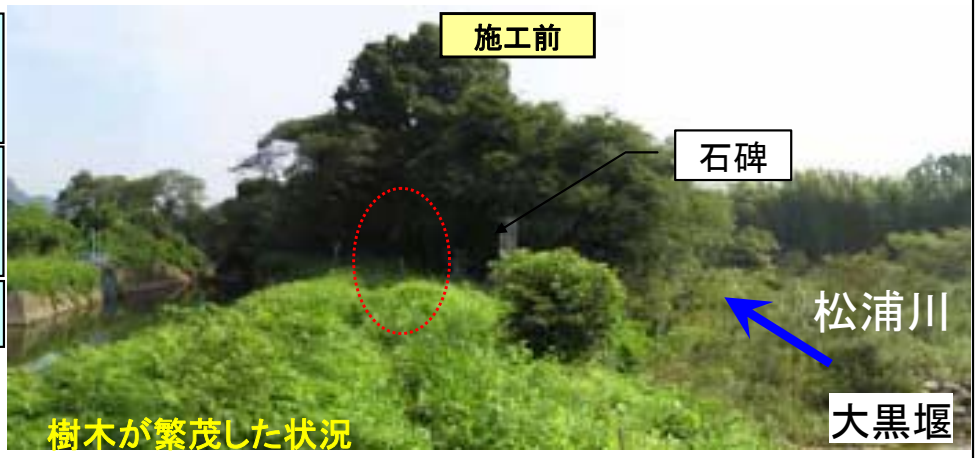
工事名：松浦川桃川地区
河道整備外工事

施工場所：伊万里市松浦町
桃川地先外

工期：H21.10.7～H22.3.29

工事金額：3,400万円

工事内容：親水広場整備



整備位置

今年度の河川整備の予定

整備概要

川の川幅を広くするため橋の架替え行う。

整備内容

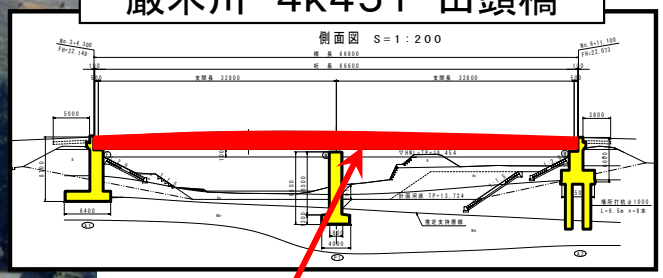
鋼橋上部工１式（延長=66.8m、幅=10m）

施工場所：唐津市相知町
厳木地先

工事内容：橋梁上部工
製作・架設

整備位置

厳木川　4k451　田頭橋



平成22年度上部工
施工予定

昨年度の河川維持管理の報告

整備概要　除草、施設点検、機械修繕、塵芥処理、樹木伐採

整備内容

塵芥処理

松浦大堰に堆積した塵芥

処理状況

処理面積：702　m3
費用　　：2,200万円

樹木伐採

樹木伐採することで
流下能力が向上

松浦川14k800付近
唐津市相知町久保地先

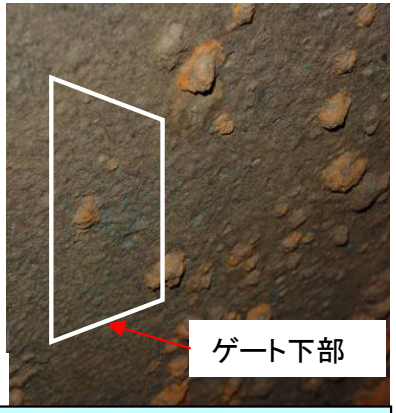
伐採面積：13,100m2
費用　　：1,600万円

工期：平成21年12月～平成22年3月

整備位置

松浦大堰修繕

主ローラー現況写真



扉体の塗装や老朽化した部材を分解整備
することで施設の機能維持を図る

工期：平成21年7月～
平成22年3月

修繕箇所：3号ゲート
費用　　：9,000万円

今年度の河川維持管理の予定

整備概要　除草、施設点検、機械修繕、塵芥処理

整備内容

堤防除草

除草面積　約230ha

異状箇所確認

年2回除草を実施。

コスト縮減

刈草は農家等へ無償提供

整備位置

松浦大堰修繕

主ローラーの腐食状況

昨年度に引き続き、2号ゲートの分解・整備、扉体塗装を実施し、施設の機能維持を図る。

施設点検・巡視

管理延長120kmを週2回巡視し、異常箇所の発見や不法行為を監視している。堰・水門・樋管を定期的に点検することで、不具合箇所の発見や機能維持を図る。

懇談会の内容

1. 松浦川水系河川整備計画の概要（約7分)
2. 昨年７月の洪水について（約2分）
3. 防災・河川情報について（約4分）
4. 昨年度行った河川整備・維持管理と
   今年度の予定について（約16分）
5. 住民団体の方々の活動紹介（約15分）
6. 意見交換（約50分）

各団体からの活動報告

活動報告

約3分/団体×5団体

1.自然と暮らしを考える研究会

2.NPO法人アザメの会

3.環境サポーター

4.かっぱ連邦笑和国

5.KANNE

各団体からの活動報告

自然と暮らしを考える研究会

ふるさと文化むら

よみがえる水辺・厳木川

町切水車

復元から11年

里川の遺産を未来に伝える

育む水辺　体験・環境学習

各団体からの活動報告

NPO法人　アザメの会

夏休み環境学習（H21．8．22）第82回アザメの瀬検討会

沼地、クリーク、トンボ池、

いろんなところで調査して

さいごの発表もばっちり！

米作り学習会(H21.6.19)

お米作りの質問がたくさん

田んぼの楽校（田植え）(H21.6.26)

まっすぐ植えられたかな

維持管理(H21.6.24)

草刈り

各団体からの活動報告

環境サポーター(河口部環境学習)

平成20年から、松浦川の河口付近の松浦橋のたもとで、
地元小学生などを対象に生物調査を実施しています。

目　的：公民館主催の夏休みの子供向けのイベント
　　松浦橋横の階段を利用して生物調査を行う。
　　ハクセンシオマネキ等の調査。
日　時：平成20年８月１８日（月）午後
　　平成２１年８月３日（月）午後
　　平成２２年８月　日（　）予定
場　所：松浦橋付近（詳細は未定）
参　加：地元小学生等を予定

無料です。
ご参加下さい！

ハクセンシオマネキ
発見！！

各団体からの活動報告

かっぱ連邦笑和国

特定非営利活動法人

唐津環境防災推進機構 KANNE

事務局長　藤田　和歌子

KANNEの紹介

自然環境保全活動　　防災･減災活動

自然豊かな安心安全なまち

次世代へ継承

KANNEの紹介

設 立　平成18年5月30日

今年度　5年目

主な活動内容

環境の保全を図る活動

虹の松原再生保全活動

主な活動内容

環境の保全を図る活動

地球温暖化防止活動

キャンドルナイト

主な活動内容

環境の保全を図る活動

地球温暖化防止活動

地域の安心を目指した活動

自主防災組織

地域で防災！

安心・安全なまちづくり

松浦川

主　役
唐津市原、柏崎地区の皆さん

活動期間
2008年5月～未来

応　援
武雄河川事務所、唐津市
NPO法人KANNE

行動する

地域で防災！取り組み体制

地域を知る

みんなで考える

計画を立てる

主な活動内容

環境の保全を図る活動

地球温暖化防止活動

地域の安心を目指した活動

防災を目的とした活動

まちなか防災キャンプ

主な活動内容

環境の保全を図る活動

地球温暖化防止活動

地域の安心を目指した活動

防災を目的とした活動

まちづくり活動

主な活動内容

環境の保全を図る活動

地球温暖化防止活動

地域の安心を目指した活動

防災を目的とした活動

まちづくり活動

その他の活動

エコイスト養成講座

エコ = 環境にやさしい

＋

イスト = ～する人

↓

地域の環境リーダー

主な活動内容

かんねまつり
環境と防災を考えよう!
参加無料
会場：アルピノ
（唐津駅横）
2月8日（日）
10:00~16:00
自衛隊特製 無料 とん汁
救急車・消防車
がやってくる

懇談会の内容

1. 松浦川水系河川整備計画の概要（約7分)
2. 昨年７月の洪水について（約2分）
3. 防災・河川情報について（約4分）
4. 昨年度行った河川整備・維持管理と
   今年度の予定について（約16分）
5. 住民団体の方々の活動紹介（約15分）
6. 意見交換（約50分）

意見交換

意見交換

これまでの各委員からのご意見･ご提案(要旨)

①懇談会の進め方・活動について

1．前向きな議論をする場にしなければならない。

2．いきなり、全てを実行するのは困難。今年は○○をしよう！など目標をみんなで考えると面白い。

3．清掃活動、自治体のボランティアゴミ袋の活用。

4．以前、流域検討会の現地視察の際、流域を知らないことを実感した。

5．現状で可能な水辺の利活用はある。
　唐津ﾛｲﾔﾙﾎﾃﾙ前には、野鳥が非常に多く、野鳥観測なども可能。

6．出席者の活発な発言を促すため、座談会方式や団体毎にブースを設ける等の配慮もあり得る。（興味のある方が集まり、発言も活発になる。）
会場については、各種団体の拠点を利用するとＰＲにもなる。

②事業について

7．工事後のＰＲをもっと上手に。自治体の積極的参加、取り組みが必要。

8．工事の工法などは、素人にも解り易いように、具体的な事例や方向性を説明してあげた方が良い。

ありがとうございました